

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	鎌ヶ谷市立初富小学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和4年度全国学力・学習状況調査の算数における正答率は、県の平均を大きく下回った。どの領域においても課題はあるが、特に「数と計算」の領域や、評価の観点「思考・判断・表現」が全国平均を大きく下回っていた。この結果からもわかるように児童の「思考力、判断力、表現力」を高めることが課題と言える。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 具体物や ICT を効果的に活用した児童が「学びたい」と思える授業を行うことで、児童は主体的に解決方法を考え、課題解決することができるようになるだろう。

3. 具体的な実践

- 授業改善に関する実践
 - ① 「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の活用
 - ② 児童の実態や授業の目的に合った具体物や ICT の効果的な活用
- 授業外に関する取り組み
 - ① 家庭学習の推進 ② ノート指導
 - ③ 算数掲示板の実施 ④ 放課後算数教室の実施（各学年月2回程度）

4. 成果

- ICT や具体物の効果的な活用により児童が興味をもって学習に取り組むことができた。
- ICT を活用し続けることで、児童が「自ら思考する」時間の確保につながった。
- 「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を授業の型として取り入れることで、教師は授業構成が考えやすくなった。

◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 本橋 一浩）

- 校内の協力体制が整っており、児童の実態を基に、どのように学力向上を進めていくかについて、全職員で取り組んでいる。今年度は特に「思考力、判断力、表現力等」を重点とし、ICTの効果的な活用や協働的な学びを意識した授業改善が進めることで、児童の成長につながった。